

# チームの属性構成が 個人の心理的安全性風土知覚に与える影響

○小川詩音<sup>1</sup>・中島健一郎<sup>2</sup>・

(1: 広島大学大学院人間社会科学研究科, 2: 広島大学)

## 目的

情報意思決定理論に基づけば、組織において多様な人材が意思決定に参加することは、知識や情報の種類や量が増えるため、組織としての独創性やそれによる問題解決能力が向上する (Van Knippenberg et al., 2004)。しかし、たとえ多様な人材が組織に所属していたとしても、組織内の属性構成上、少数となるメンバーが発言することを躊躇う状況であるならば、多様性が成果に反映されることはない (船越, 2023)。本研究では、会社員の発言や所属組織への認識 (心理的安全性) の現状把握を行う一助として、属性 (性別, 年齢, 障害の有無) ごとの違いを比較する。仮説は以下の通りである。

仮説 1: 発言 (促進的/抑止的) と心理的安全性風土の知覚において、女性社員の平均値は男性社員の平均値よりも有意に低い。

仮説 2: 発言 (促進的/抑止的) と心理的安全性風土の知覚において、身体障害の診断を受けている社員の平均値が、そうでない社員の平均値よりも有意に低い。

仮説 3: 発言 (促進的/抑止的) と心理的安全性風土の知覚において、精神疾患の診断を現在受けている社員と過去に受けたことがある社員の平均値が、そうでない社員の平均値よりも有意に低い。

## 方法

**調査対象者** 調査会社モニターのうち、20歳~73歳の会社員 476名 (男性 250名, 女性 226名) であった。

**質問紙構成** (1) 個人属性: 年齢, 性別, 国籍, 身体障害の診断有無, 精神疾患の診断有無など。(2) 発言: 田中 (2023) を基に 10項目 (促進的/抑止的の各 5項目) を邦訳し 5件法で回答を求めた。(3) 心理的安全性風土

の知覚: 宮島 (2018) の心理的安全性風土の知覚 (5項目) を使用し, 5件法で回答を求めた。

## 結果

分析には統計ソフト HAD18 を用いた。発言尺度の 10項目について確認的因子分析を行った結果, 先行研究と同様の 2因子構造が確認された (CFI = .984, RMSEA = .065, SRMR = .022)。各尺度の  $\omega$  係数も .917 ~ .945 の値を示しており, 高い信頼性が確認された。国籍については, サンプル数不足のため分析項目から除外した (日本国籍有 473名, 日本国籍無 3名)。

仮説検証のための分析結果を Table 1 に示す。その結果, 仮説 1 は抑止的発言において支持された。仮説 2 は不支持であった。仮説 3 は抑止的発言が精神疾患の診断を現在受けている社員と受けたことのない社員との間で支持され, 心理的安全性風土の知覚においても支持された。

## 考察

今回の調査では, 会社員の性別や精神疾患の有無によって, 抑止的発言や心理的安全性風土の知覚に差異が認められた。この結果は船越 (2023) の指摘を支える根拠となりうる。このような差異についての現状把握を進め, それらの改善を目指すためには, 特定の組織内の構成員に対する調査研究が必要となる。その中で日々コミュニケーションを取りながら働く職場ごとに測定を行い, 両発言や心理的安全性風土の知覚との関連を示すことが今後の課題である。

## 謝辞

本調査の分析にあたり, 終始丁寧に指導して下さいました李 受珉先生 (広島大学) に感謝します。

Table 1. 各尺度得点における平均値の差 (下線部分は, Holm法による有意水準の調整を行ったうえで5%水準で有意な箇所を示す)

		促進的発言 ( $\omega = .937$ )				抑止的発言 ( $\omega = .917$ )				心理的安全性風土の知覚 ( $\omega = .945$ )			
		t値	df	p値	効果量d	t値	df	p値	効果量d	t値	df	p値	効果量d
性別	男性-女性	1.89	474	.059	.173	2.32	474	.021	.213	.38	474	.706	.035
身体障害の 診断有無	診断有群-診断無群	.58	29.29	.569	.134	-.34	29.29	.735	.080	-1.24	29.19	.225	-.294
	現在診断有群-過去診断有群	-.41	473	.683	-.116	-.52	473	.603	-.148	.58	473	.563	.164
精神疾患の 診断有無	現在診断有群-診断無群	-1.73	473	.084	-.332	-2.62	473	<u>.009</u>	-.488	-2.45	473	<u>.015</u>	-.456
	過去診断有群-診断無群	-.92	473	.361	-.206	-1.51	473	.131	-.340	-2.75	473	<u>.006</u>	-.620